

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン /

はつらつ通信

2019.9.1 September vol.156

発行:医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集:はつらつ通信局



栄養の専門家のしごと



院内での食事を楽しくする手作りカード

今号の部門紹介で取り上げる栄養科では、デイケアや病棟で行事食や旬の食材を出す際に手作りのカードを添えています。制作は調理員が持ち回りで担当。10年ほど前に作り始めた当初は、簡単な説明文にカットを付けたシンプルなカードでしたが、皆さんに喜ばれるうれしさからクイズ形式や折り紙付き、料亭仕様の箸袋まで、さまざまなスタイルが入院患者さまやデイケアのご利用者さまの目を楽しませています。

テーマに関する情報集めも担当者が行い、管理栄養士が最終チェックをしています。「調理員も医療従事者。玉石混交のインターネットから正しい情報を選び、身につけることが大切です」と管理栄養士の大島美奈子科長。手作りカードは、スタッフには学ぶ機会を、食べる方には栄養情報を提供しています。



部門紹介 PART 4

栄養科

食事提供・栄養管理・栄養教育が業務の3本柱

他部門と連携して幅広い情報を共有

スクリーニングや他部門との情報共有で、患者さま個々の状態を把握。体質や体調に即応した、きめ細かな栄養管理を行っています。

食事にかかわる 3つの主業務

当院の栄養科には、管理栄養士2名、委託の管理栄養士と事務員各1名、厨房スタッフ13名が所属しています。主な業務は、病棟とデイケアへの食事提供、入院患者さまの栄養管理、病棟や外来の患者様やデイケアご利用者さまへの栄養教育の3本柱で、表紙の手作りカードは栄養教育の1環です。



管理栄養士の大島美奈子科長



食品メーカー提案の献立を美食

食事提供に関しては、栄養バランスや食材費の条件を満たす新しい献立を常に検討。科内の新メニュー試食会のほか、食品メーカーが自社製品を用いた献立を提案する試食会も行い、食べる方に喜んでいただける新メニュー開発に努めています。



新メニューを栄養科で試食

「既製品は割高ですが、調理時間を節約でき、品質のばらつきも少なくできるので、軟らかくするのに時間を要する根菜サラダやすぐ使える野菜ソースなどを効果的に使っています」と大島科長。経鼻や胃ろうの患者さまの栄養剤は、組成を精査して似たようなものを省き、昨年末に10種を6種に厳選。患者さまの状態を確認した上で、選択の効率化を図りました。

スクリーニングで 定期的な状態把握

当院は2010年にNST (Nutrition Support Team) / 栄養サポートチーム稼働施設に認定され、管理栄養士だけでなく多職種チームで栄養管理に取り組んでいます。

患者さまの栄養状態は病棟と栄養科が定期的にスクリーニング。身長・体重、血液検査の結果、ストレス係数や活動係数などを点数化し、食事のカロリーや栄養バランスなどを見直しています。「もともと痩せ気味で体重低めが正常値だったり、発熱で処方された抗生剤が血液検査に影響したりと、そのときの患者さまお一人おひとりを丁寧にみていく必要があります」と大島科長。データが蓄積され、体質や長いスパンでの推移なども読み取れるようになりました。



糖尿病の外来患者さまに栄養指導

多職種チームで 効果的な栄養管理

昨年3月からは、スクリーニングの項目にフィジカルアセスメント(身体的な診査による評価)として、リハビリテーション科による下腿周囲長(すね周りの太さ)の測定が加わりました。近年、加齢による骨格筋量や筋力の低下を意味する「サルコペニア」を防ぐことが介護予防につながるかとされており、サルコペニアかどうかの判断材料と



下腿周囲長を理学療法士が計測

入院患者さまの食事例



試食会に参加した栄養科スタッフ

なる下腿周囲長のデータ共有は、リハビリと栄養管理の協働に最適でした。「3カ月ごとにリハのカンファレンスにも参加し、患者さんの健康状態の情報共有をしています」と大島科長。糖尿病で栄養指導を行っている患者さまの情報を外来看護師と共有したり、病棟のさまざまなカンファレンスに参加したりと、ここ数年他部門との繋がりがより密になりました。「栄養科と話すとお互さまのメリットになると他部門から思ってもらえたら、専門職として一番うれしい。そうなっていると信じて頑張っています」。

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

「びょういんあーとぶろじえくと」の関連行事

デイケアで「リズムであそぼ」

動いて、鳴らして
全身で楽しむ音楽

7月15日(月)から新しい展示でスタートした「びょういんあーとぶろじえくと」19-21展(第13回) Vol.1-1「こころ」。

18日(木)には、そのオープニングイベント「リズムであそぼ」が、デイケアのご利用者さまを対象に行われました。



スコットランドのダンス

進行役を務めたのは、2回目の登場となるマクドナルドあずみさんと、ご主人でパーカッション奏者のマドックさん。最初に、ぞうきん絞りや窓拭きといった手の動きを模したダンスで皆さんと体を動かし、続いて



あずみさんがスコットランドの踊りを、マドックさんが打楽器カホンの演奏を披露。その後は、童謡「たのしいね」やヒット曲「ダンスング・クイーン」のリズムに合わせて、配られた楽器を鳴らしたり手拍子を取ったり歓声を上げるなど、音楽と一体になるひとときを楽しみました。



リズムに合わせて手でダンス

かわいらしさに
思わず感激の涙

弾むリズムとともに、会場の人気を集めたのがご夫妻の愛息、澄海くん。1歳3カ月の愛くるしさに、男性のご利用者さまが何人も感涙にむせいだほど。

「楽しかったです!」とマクドナルドご夫妻と澄海くん



涙目のご利用者さま



「びょういんあーとぶろじえくと19-21展(第13回) Vol.1-1「こころ」開催中。11月17日(日)まで

送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金

4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822 URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平日] 9:00~12:30 13:30~17:00
[土曜] 9:00~12:00

面会時間 [平日] 14:00~20:00
[土日祝] 12:00~20:00

